

番号：130982

国名：エチオピア

担当：農村開発部乾燥畑作地帯第一課

案件名：灌漑設計・施工能力向上プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2013年11月上旬から2013年12月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.70M/M、合計 1.20M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	21日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：10月16日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス(e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、
または調達部受付(JICA本部1F)への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件（業務実施契約（単独型）のみ）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細については、JICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ）をご覧ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針：

①業務方針の的確性	3点
②業務方法の整合性、現実性等	6点
③当該業務実施上のバックアップ体制	1点
 - (2) 業務従事者の経験能力等：

①類似業務の経験	45点
②対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	エチオピア／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

エチオピアでは、農業に従事する人口が85%、農業生産のGDPに占める割合が40%以上にのぼる。

2010年から2015年までの国家開発五か年計画(Growth and Transformation Plan)の中でも、農業を核として経済成長を図ることが目標として掲げられている。しかしながら、農業生産の大部分が伝統的な技術に依存しているのが実情で、単位面積あたりの生産性が低く、安定的な食料生産・供給が行われていない状況にある。

オロミア州は、エチオピア国内最大の州(359,629km²)であり、州人口2,730万人(2007年7月推計)の約80%が農村地域で生活しているが、同州の農業は、低地における不安定な降雨、高地における雨季の土壌流出、人口の密集、市場の未整備等の要因により生産性の向上が妨げられ、農業生産性の伸びは低く抑えられている。その結果、依然として133郡のうち58郡が食料安全保障に課題を抱えており、食料不足にある人口は約130万人以上にのぼっている。また同州では潜在的に約170万haの灌漑農業適地が存在するとされているが、2005年までに灌漑された面積はそのうちの約12%(206,337ha)に止まっている。同州は近年灌漑開発のための予算を拡大し、州を東西に分け、緊急対策地域とされる東オロミアにおいては季節河川を利用した灌漑(洪水灌漑)を中心とした開発を進める方針を立てているが、新規灌漑開発のために必要とされるオロミア州や郡の水資源担当職員の灌漑施設建設に係る技術能力は低く、同能力向上が喫緊の課題となっている。

このような状況の中で、オロミア州における効率的な表流水施設建設のための体制の構築を目的とした「灌漑設計施工管理能力向上プロジェクト」(2009年6月より5年間)が開始されている。オロミア州灌漑開発公社をカウンターパート(以下「C/P」という)機関とし、現在「チーフアドバイザー/灌漑技術」、「水資源計画」、「施設設計/施工管理」、及び「研修/業務調整」の長期専門家4名が派遣中である。

今回実施する終了時評価調査は、2014年6月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績、成果を評価、確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言及び今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価 5 項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備 (2013 年 11 月上旬)

- ①既存の文献、報告書等(事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等)をレビューし、プロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存の PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価 5 項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P 機関、その他エチオピア側関係機関、他ドナー等)に対する質問票(英文)を作成する。
- ④対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣 (2013 年 11 月中旬～12 月上旬)

- ①JICA エチオピア事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に基づいた評価手法について説明を行う。
- ③エチオピア側評価団と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤国内準備並びに上記②及び③で得られた結果をもとに、他の調査団員及びエチオピア側評価団等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、合同評価報告書(案)(英文)の取りま

とめを行う。

- ⑥調査結果や他団員及びエチオピア側評価団等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び P0 の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑦合同評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑧協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑨現地調査結果の JICA エチオピア事務所等への報告に参加する。

（3）帰国後整理期間（2013 年 12 月中旬～2013 年 12 月下旬）

- ①評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- ②帰国報告会に出席する。
- ③終了時評価調査報告書（和文）について、担当分野のドラフトを作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- （1）合同評価報告書（英文）
- （2）担当分野に係る終了時評価調査報告書（案）（和文）
- （3）評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

（1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

10. 特記事項

（1）業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2013年11月17日～2013年12月7日を予定しています。

本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画（JICA）
- ウ) 灌漑開発（農林水産省）
- エ) 評価分析（コンサルタント）

③便宜供与内容

当機構エチオピア事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗

- することとなります。)
- エ) 現地日程のアレンジ
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及びC/Pの同行
- オ) 執務スペースの提供
プロジェクトオフィス内の執務スペース提供

(2) 参考資料

- ①本プロジェクトに関する以下の資料を当機構農村開発部乾燥畑作地帯第一課
(TEL:03-5226-8430)にて閲覧できます。
- ・プロジェクト定期報告書
 - ・専門家報告書
- ②本プロジェクトに関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。
- ・エチオピア連邦民主共和国 灌漑設計・施工能力向上プロジェクト事前調査報告書
 - ・エチオピア連邦民主共和国 灌漑設計・施工能力向上プロジェクト中間レビュー調査報告書
 - ・エチオピア連邦民主共和国 灌漑設計・施工能力向上プロジェクト運営指導(中間レビュー)調査報告書

(3) その他

業務実施契約(単独型)については、単独(1名)の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上